

令和5年渇水状況について(10月10日時点)

- ・以下の水系について状況を注視しています。
- ・国管理河川においては、渇水対策本部の設置はありません。

凡例

状況注視 : — (渇水対策協議会等実施)

状況注視 : (渇水対策協議会等未実施)

信濃川水系高瀬川・北陸地方整備局

大町ダム渇水対策情報連絡会(9月13日)
(ダムへの流入量が低下傾向)

※大町ダム[F, N, W, P] 24% 10月10日時点

阿賀野川水系阿賀川・北陸地方整備局

阿賀川渇水情報連絡会(8月30日、10月6日)
(ダムへの流入量が低下傾向)

※大川ダム[F, N, A, W, I, P] (50% 10月10日時点)

神通川水系荒城川・岐阜県

※丹生川ダム[F, N, W, P] (29%:10月10日時点)
⇒第3次節水(荒城川の流量が約7割減)を実施中

江の川水系江の川・中国地方整備局

江の川渇水調整協議会幹事会(9月4日、13日)
(ダム貯水率の減少)

※灰塚ダム[F, N, W] (45%-10月10日時点)
⇒既得用水分の放流について20%削減を実施
(9月4日より)。

手取川水系手取川・北陸地方整備局

令和5年度手取川渇水情報連絡会(9月15日)
(ダムへの流入量が低下傾向)

※手取川ダム[F, W, I, P] (26% 10月10日時点)

犀川水系犀川・石川県

犀川水系渇水調整協議会(8月24日)
(犀川ダムの貯水率低下)

※犀川ダム[F, N, W, P] (68% 10月10日時点)
⇒10%の自主節水を実施 (8月24日より)

